

令和7年産 業務用米

「つくばSD2号」移植栽培こよみ

～需要に応じた米生産販売により所得確保をすすめよう！～

あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

※肥料・農薬名は農協の推奨品目です

「つくばSD2号」栽培のポイント

- 5月20日頃に植え、確実に「コシヒカリ」と収穫期を分散する
- 出穂期まで葉色4.2（砂壤土は4.5）を下回らないようにする
- いもち病・紋枯病の発生に注意し、基本防除を徹底する
- **いもち病・紋枯病・カメムシの多発時には随時防除を行う**

「つくばSD2号」収穫調製のポイント

- 刈遅れによる胴割米の発生を避ける
- 1.85mmのふるい目で収量向上を図る

収量構成要素

構成要素	目標値
10a当り収量	600kg
m ² 当たり穂数	450本
一穂粒数	74粒
m ² 当たり粒数	33,300粒
登熟歩合	82%
玄米千粒重	22.0g

基肥一発施肥量の目安(つくばSD2号専用肥料)

土壌区分	施用量(kg/10a)	
沖積	砂壤土	35~40
	壤土	30~36
	埴壤土	25~30
洪積	赤土	30~33
	黒ボク	35~40

病害虫防除体系

	対象病害虫	時期	農薬名	散布量(/10a)
随時	紋枯病	穂ばらみ期	モンカットファイン粉剤20DL	4kg
			バシタックゾル(1000倍液)	100~150L
本田基本防除	カメムシ類 ウンカ類 いもち病	穂揃期	ビームスタークル粉剤5DL ※1	4kg
			ビームエイトスタークルゾル(1000倍液)※1	100~150L
	カメムシ類 ウンカ類	傾穂期	キラップ粉剤DL ※2	4kg
			キラップフロアブル(1000倍液) ※2	100~150L

※1 但し収穫の7日前まで ※2 但し収穫の14日前まで

植付けの目安

株数	60~70株
本数	3~4本
深さ	3cm程度

月日	4月	5月	6月 6/20頃	7月 7/14頃 7/26頃	8月 8/7頃	9月 9/20頃									
水管理		浅水管理	中干しの徹底	間断かん水	手溝の水が切れないように管理(飽水管理)	湛水管理 間断かん水 落水を急がない									
生育期	育苗期	田植期	活着期	有効分けつ期	無効分けつ期	幼穂形成期 穂ばらみ期 登熟期 収穫期									
管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 土づくり資材の施用と深耕 ● 十分に浸種を行い、芽出しを確実にを行う ● 播種は5月初旬から開始 ● ※5月20日植えの場合は、5月3日播種 (1箱当たり乾籾120g) ● ハウス内は常時換気を徹底する ● (育苗ハウスが25℃以下になるよう管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田植後は3cm程度の浅水管理 ● 田植直後はやや深水として活着を早める ● 初中期一発除草剤は指定剤を使用する ● 基肥一発肥料は指定肥料を使用する ● 基肥量は基準量を厳守 ● 田植後は5月20日以降とする(コシヒカリの後) ● 紋枯病剤を含む苗箱施薬の実施(指定剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活着後は3cm程度の浅水管理 ● 田植直後はやや深水として活着を早める ● 初中期一発除草剤は指定剤を使用する ● 基肥一発肥料は指定肥料を使用する ● 基肥量は基準量を厳守 ● 田植後は5月20日以降とする(コシヒカリの後) ● 紋枯病剤を含む苗箱施薬の実施(指定剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑草が多い場合は中後期除草剤で対応する ● 昼間止め水、朝夕短時間入水 ● 早めの溝掘り ● 中干し開始 (田植後1ヶ月までに開始) ● 中干し後は間断かん水を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ● 畦畔・農道等の草刈りを徹底 ● 中間追肥の施用(ケイ酸・加里の施用) ● 幼穂形成期前後の葉色は4.2 (砂壤土4.5)を下回させない ● 葉色が淡ければ追肥 ● 幼穂形成期以降は飽水管理 ● 葉色が淡ければ追加追肥 	<ul style="list-style-type: none"> ● 穂揃期の葉色を4.5に誘導 ● 基本防除1回目(穂揃期) ● 防除は7日間隔で10日以上あけない ● 随時防除(カメムシ常発地・多発時) ● 基本防除2回目(傾穂期) ● フェーン時には事前にかん水 ● 随時防除(カメムシ常発地・多発時) ● 刈取5~7日前まで間断かん水 (刈取時期に合わせて落水) ● 目標仕上げ水分 14.5~15.0% ● (刈遅れによる胴割米の発生防止) ● 籾の黄化率85~90%での適期刈取 ● 1.85mmのふるい目で選別する。 ● 土づくり ● 雑草対策(畦畔・ひこばえ等) 									
栽培記録	区分	珪酸質資材、肥料名	散布月日	施用量	本田管理	耕起 月日~月日	代かき 月日~月日	田植え 月日~月日	刈取日 月日~月日	区分	時期	農薬名	散布月日	散布量	
土づくり	本田	HN-700	月日	kg/10a	除草	月日	月日	月日	月日	病害虫防除	育苗期	種子消毒	モミガードC水和剤	月日	mL/箱
			月日	kg/10a		月日	月日	苗箱施薬	スタウトアレスモンガレス箱粒剤		月日	50g/箱			
			月日	kg/10a		月日	月日	本田			月日	/10a			
	月日	kg/10a	月日	月日	本田		月日	/10a							
施肥	本田	HN-700	月日	kg/10a	除草	月日	月日	月日	月日	病害虫防除	傾穂期			月日	/10a
			月日	kg/10a		月日	月日	本田			月日	/10a			

出穂後の湛水管理に備え田面を固める

出穂後20日間は十分な湛水状態を保つ

カメムシ防除には穂揃期と傾穂期の殺虫剤散布が不可欠です。